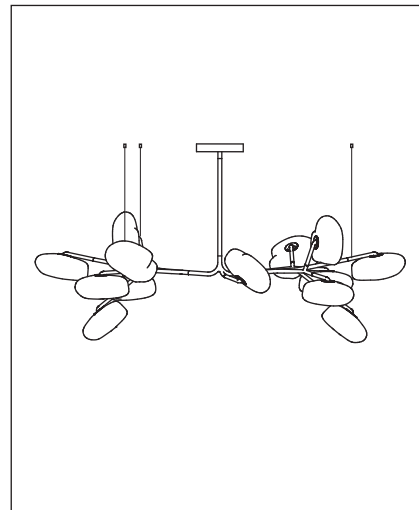


73.13 Armature1

[屋内用ペンダント]

- このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくご覧のうえ、正しくご使用ください。
- 電源の工事が必要な器具については、専門の工事店におまかせください。
- 万一破損したり、異常を感じた場合は、速やかに電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。
- 電気工事店の方へ**：取り付け工事が済みましたら、この説明書を必ずお客様にお渡しください。
- お客様へ**：この説明書は必ず保管してください。
- 本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます、ご了承ください。



Design by Omer Arbel

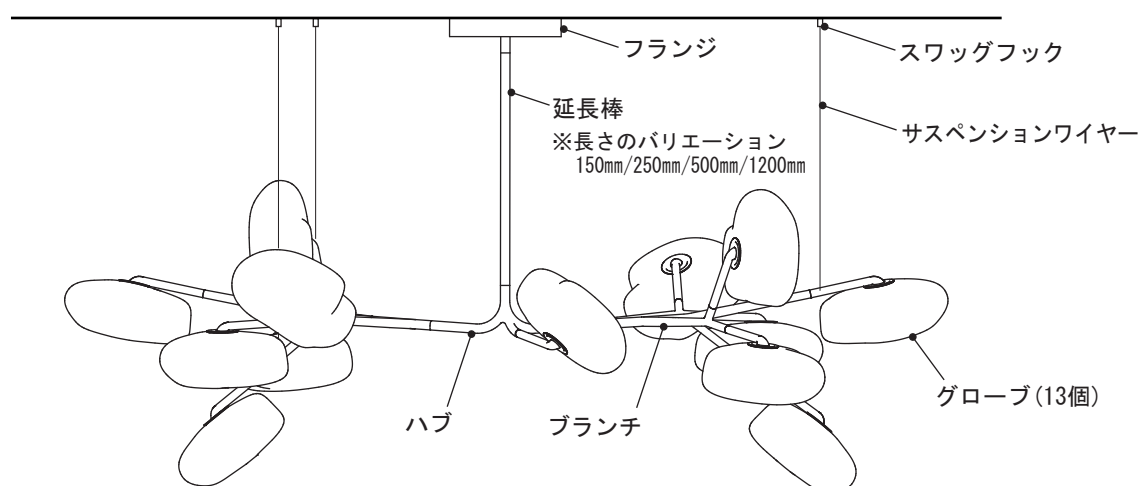
取り付けについての安全上のご注意

⚠ 警 告	
	火災のおそれがあります ◇電気工事は、電気設備基準にしたがって確実に行ってください。 ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取り付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取り付けは、取り付ける場所の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取り付けてください。 ◇器具は指定の取付方向に取付けてください。
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇アース工事が必要な器具は、電気基準設備及び内線既定にしたがって確実に行ってください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取り付けしないでください。

⚠ 注 意

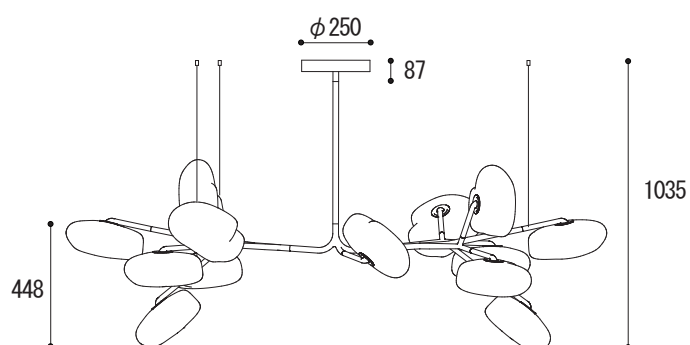
- ◇電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取り付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇灯具の着脱は両手で静かに扱い、取り付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇器具取り付けの際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。
メッキや塗装等の**変色や、さびの原因**となります。

▶ 設置イメージ

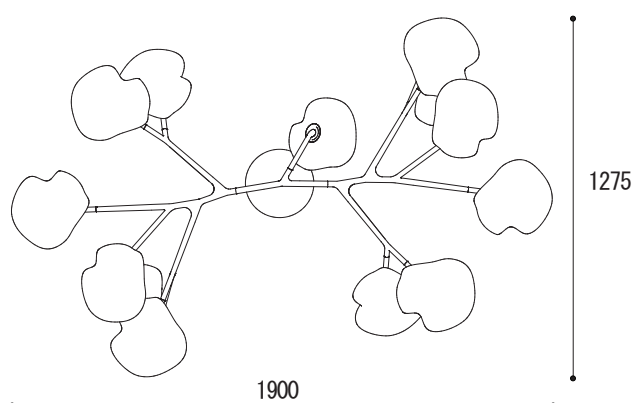


▶ 器具サイズ

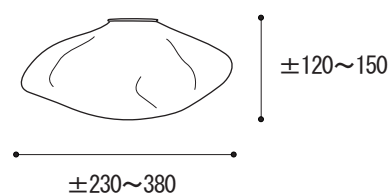
(単位 : mm)



※500mmの延長棒を使用した場合。
※500mm以外に150mm、250mm、1200mmを
お選びいただけます。
※高さは最大2500mmまで延長可。



▶ グローブサイズ



▶ テクニカルデータ

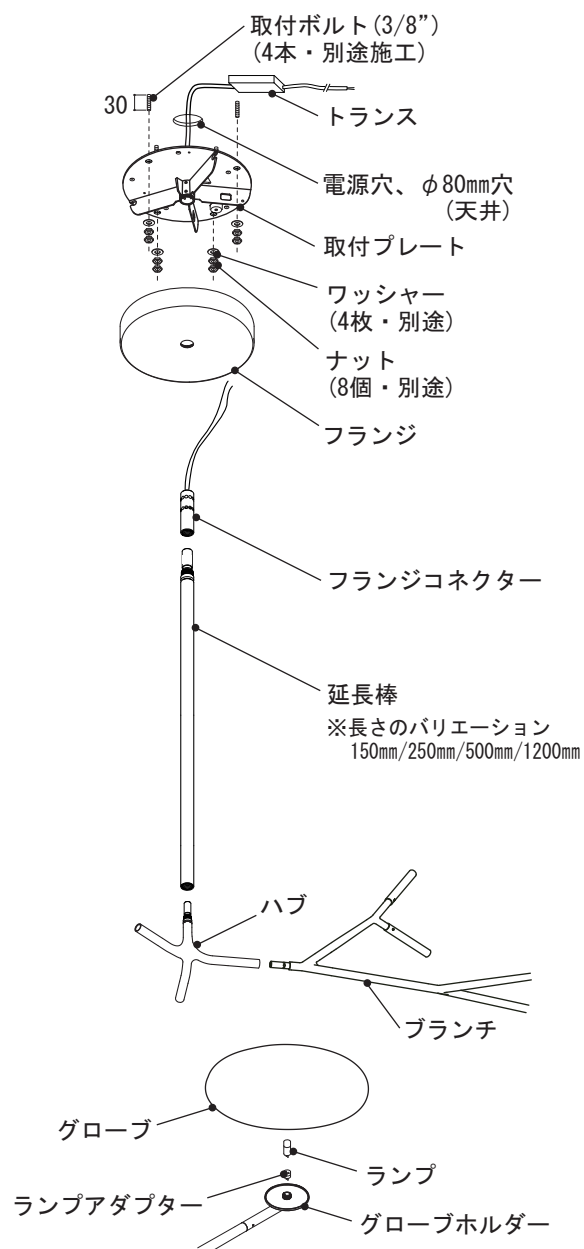
使用電圧	周波数	適合ランプ	ソケット	質量	調光 不可
AC100V	50Hz/60Hz	LED 球 12V 1.0W、100lm、2,700K、CRI 90×13 灯	G4	55.1kg ※	

※専用トランス同梱。

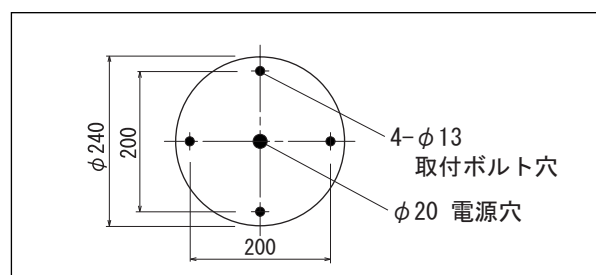
※ランプはこの器具の専用球です。

※この製品のグローブは個々の大きさが異なるデザインになっていますので、質量も一定ではありません。

▶ 部品名称



▶ 取付面図



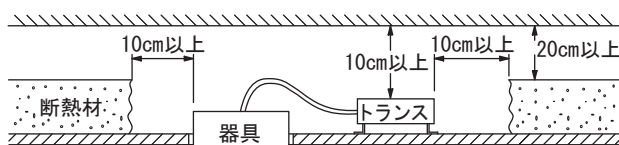
▶ 同梱部品

- ① ランプ・13 個
LED 球 12V 1.0W (専用ランプ)
- ② トランス・1 個
- ③ コネクター・4 個
- ④ フランジコネクター固定ネジ・必要数
- ⑤ 固定ネジ(大)・必要数+予備
- ⑥ 固定ネジ(小)・必要数+予備
- ⑦ フランジコネクター・1 個
- ⑧ グローブホルダー・13 個
- ⑨ G4 アダプター・13 個
- ⑩ ランプアダプター・13 個

▶ スワッグフック関連部品 (必要セット数)

- ① サスペンションワイヤー
- ② 引掛金具
- ③ スワッグフック、専用ネジ
ワイヤー固定ネジ

▶ 断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について



※ 住宅の断熱施工された天井には使用できません。
法律で禁じられています。住宅以外の建物に使用
するときは、上図のように行ってください。

▶ 取り付け・接続・使用方法

図 1

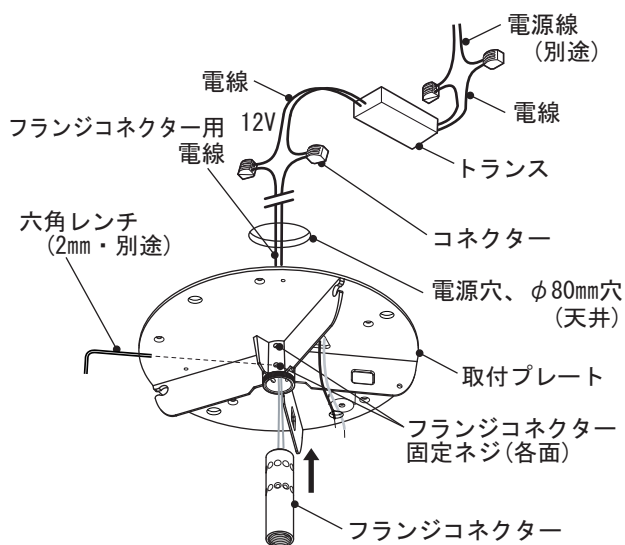


図 2

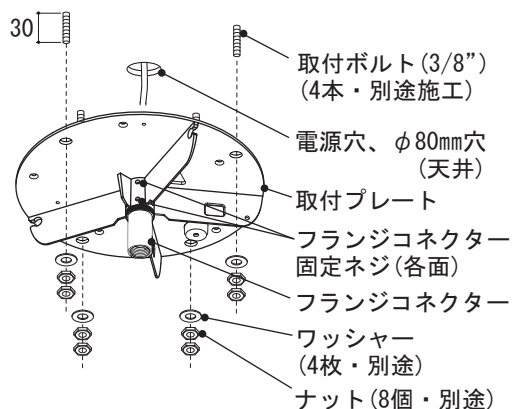
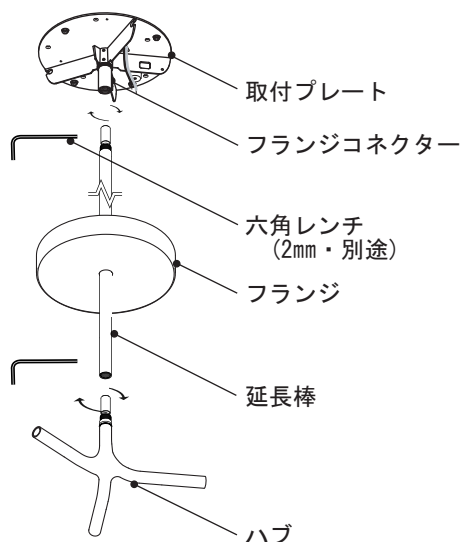


図 3



【取り付けの前に】

（3 ページの部品名称と図 1 参照）

- ・ 取付場所に取り付ボルト（4 本、別途施工）を出しておいてください。
- ・ スワッグフックを使用する箇所には、器具の質量に耐えられるように、設置する部分の天井を補強してください。（スワッグフックの取り付けについては、7 ページを参照してください。）
- ・ 取付場所（天井）にφ80mm の電源穴を開けてください。
- ・ 天井点検口付近など、点検のできる天井内にトランスを設置してください。
- ※ トランスからランプまでの電線の長さは、最長 9m までに設定してください。
- ・ 電源線（別途）をトランスの設置場所に通しておいてください。
[取付方法] トランスの一次側の電線に、コネクタ（接続端子）を使って接続してください。
- ※ トランスの一次側と二次側を間違えるとショートの原因となり、大変危険です。
- ・ トランスの二次側の電線を天井に開けた電源穴から下側に通しておいてください。

【取付方法】

1

取付プレートにフランジコネクタを取り付けます。
（図 1 参照）

- ・ 取付プレートにあるフランジコネクタを固定する位置に、六角レンチ（2mm・別途）を使ってフランジコネクタ固定ネジを軽くねじ込んでおいてください。（この時点では、奥まで締めつけないでください。）
- ・ フランジコネクタを取付プレートの穴に差し込み、フランジコネクタ用電線を引き出してください。
- ・ フランジ固定ネジを締め付け、取付プレートにフランジコネクタを固定してください。
- ※ 後の「ハブの向きの調整作業」で、フランジ固定ネジをゆるめますので、この時点で締め付けるのは、下側だけにしておくといいでしょう。
- ・ フランジコネクタ用電線を天井の電源穴から出した二次側（12V）の電線にコネクタ（接続端子）を使って接続してください。

2

天井に取付プレートを取り付けます。（図 2 参照）

- ・ 電線とコネクタを天井裏に押し込みながら、取付プレートを取付ボルト（4 本・別途施工）に合わせてください。ワッシャー（4 枚・別途）とナット（8 個・別途）で確実に固定してください。

3

フランジコネクタに延長棒とハブを固定します。
（図 3 参照）

- ・ フランジコネクタに延長棒をねじ込み、六角レンチ（2mm、別途）を使って、フランジコネクタ固定ネジを締め付けて固定してください。
- ・ 延長棒にフランジを通し、その後、ハブを延長棒にねじ込み、フランジコネクタ固定ネジを締め付けて固定してください。

図 4

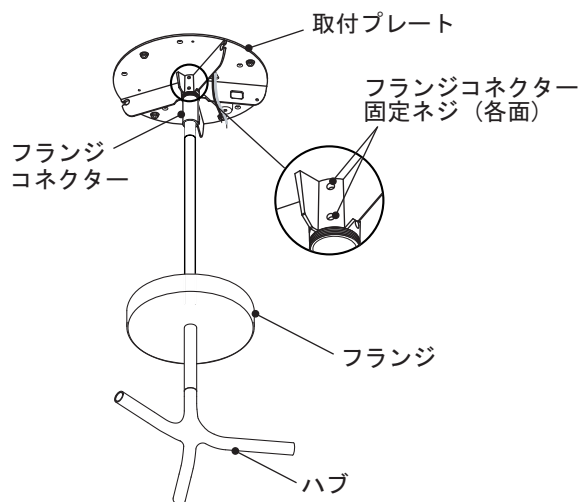


図 5

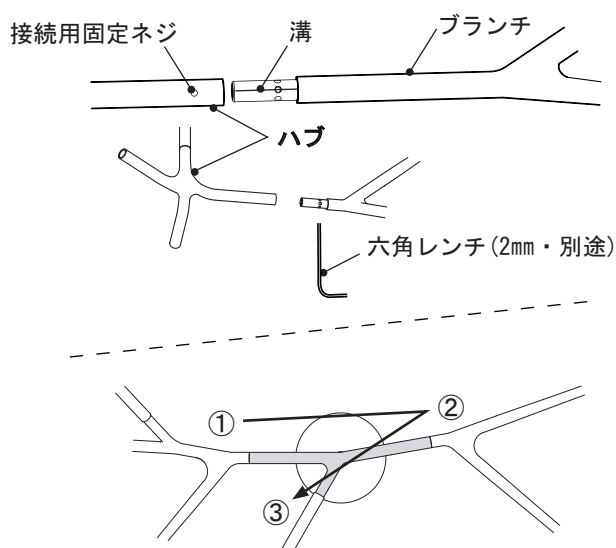


図 6

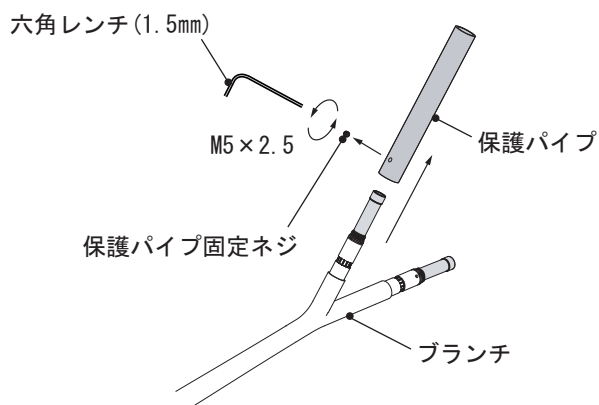
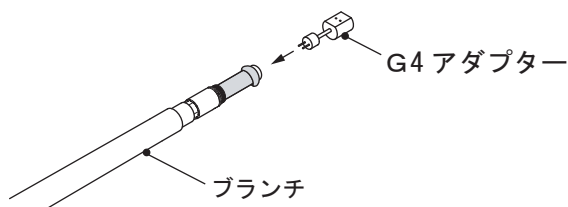


図 7



4

ハブの向きを調整し、フランジを固定します。

(図 4 参照)

- ・ 2 ページの『器具サイズ』にある図を見ながら、ハブの向きを確認し、フランジコネクターを回転して調整してください。
- ・ フランジコネクターを回転させるには、フランジコネクター固定ネジ(各面)を一旦ゆるめてください。
向きを調整したら、再び締め付けて確実に固定してください。
- ・ フランジを持ち上げ、取付プレートにねじ込んでください。

5

ハブにブランチを取り付けます。

(図 5 参照)

- ・ ブランチを取り付けるハブの位置を確認してください。
- ・ 取り付けは、重さのバランスに注意しながら行ってください。①から③の順番で行ってください。
- ・ ブランチの差込部にある溝と、ハブにある接続用固定ネジの位置を合わせ、差し込んでください。
- ・ 六角レンチ(2mm、別途)を使って接続用固定ネジを締め付け、確実に固定してください。

6

ブランチから保護パイプをはずします。

(図 6 参照)

- ・ ブランチ先端に保護パイプがある場合は、六角レンチ(1.5mm)を使って保護パイプ固定ネジをゆるめ、ブランチから保護パイプを引き抜いてください。

※このパイプは輸送時の保護用なので使用しません。

7

ブランチにG4 アダプターを取り付けます。

(図 7 参照)

- ・ G4 アダプターにある 2 つのピンを、ブランチの先端にある 2 つの穴に合わせ、真っ直ぐに奥まで差し込んでください。

図 8

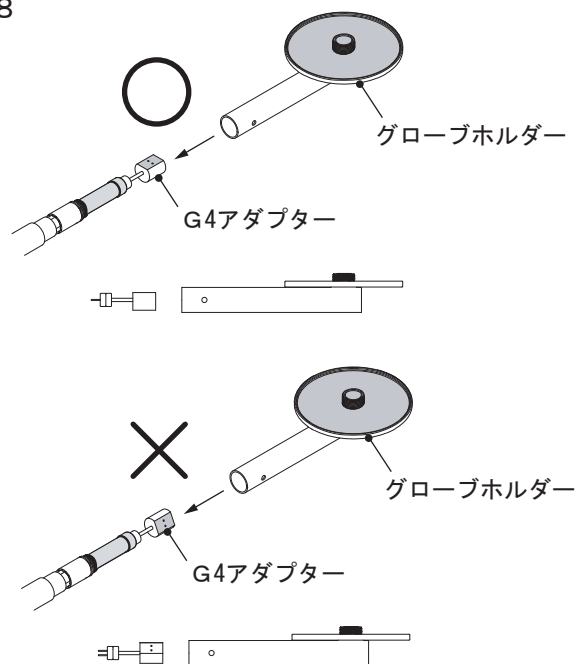


図 9

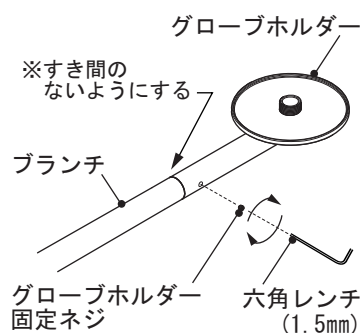


図 10

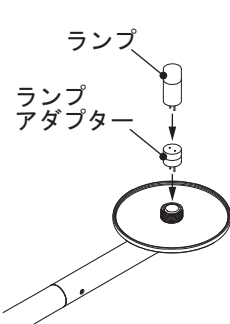


図 11

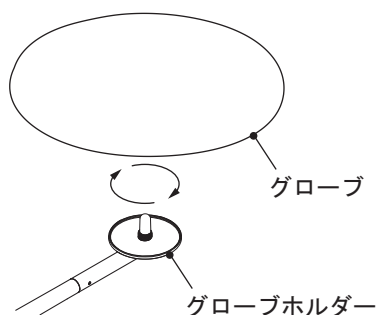
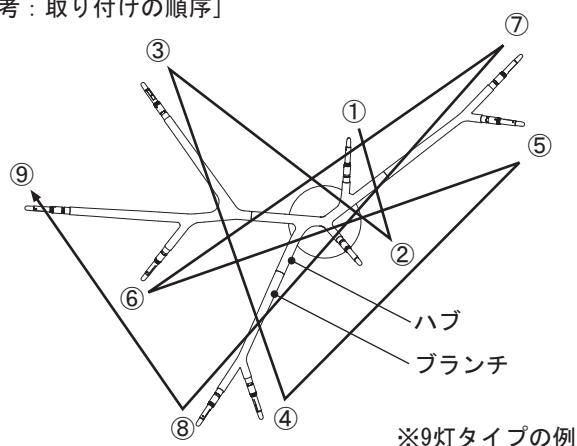


図 12

[参考：取り付けの順序]



8

G4 アダプターにグローブホルダーを取り付けます。
(図 8・9 参照)

- ・ G4 アダプターにグローブホルダーのパイプ部分をかぶせてください。
- ※その際、グローブホルダーの板面と G4 アダプターの平らな面(2つの穴がある面)が平行になるように合わせてください。
- ・ グローブホルダーを奥までブランチに差し込んでください。
- ・ 六角レンチ(1.5mm)を使ってグローブホルダー固定ネジを締め付け、グローブホルダーを固定してください。
- ※必要に応じてグローブホルダーの向きを調整することができますが、180° 以上は回転させないでください。もし 180° 以上回転させる場合は、グローブホルダーを取りはずし、G4 アダプターを回転させてください。

9

ランプをランプアダプターに取り付けます。

(図 10 参照)

- ・ グローブホルダーの穴にランプアダプターを差し込んでください。
- その際、グローブホルダー内には G4 アダプターの 2 つ穴がありますので、ランプアダプターにある 2 本のピンを、その穴に真っ直ぐに奥まで差し込んでください。
- ・ ランプにある 2 本のピンを、ランプアダプターにある 2 つの穴に合わせ、真っ直ぐに奥まで差し込んでください。
- ・ この時点で、ランプが点灯するか確認してください。

10

グローブをグローブホルダーに取り付けます。

(図 11・12 参照)

- ・ グローブの開口部にあるネジ部分をグローブホルダーにあるネジに合わせ、ねじ込んでください。
- ・ グローブはハブの部分を先に取り付け、ブランチ部分は、バランスを保ちながら交互に取り付けてください。
- ・ 取付後、確実に固定されたかどうか確認をしてください。

図 1 3

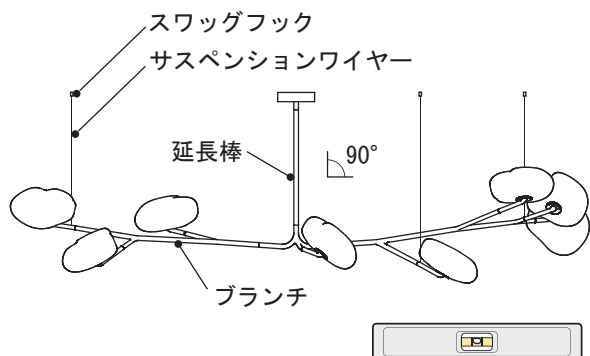


図 1 4

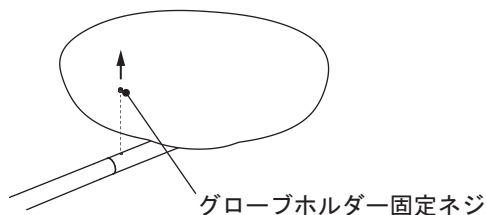


図 1 5

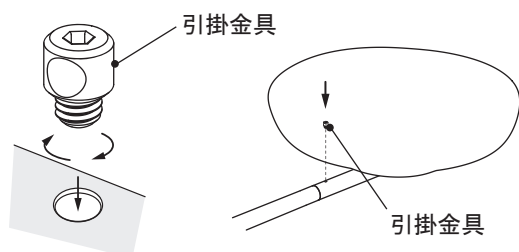


図 1 6



図 1 7

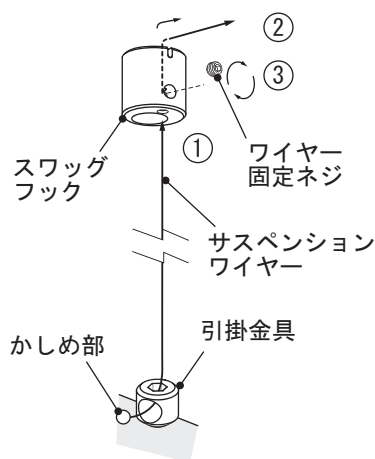
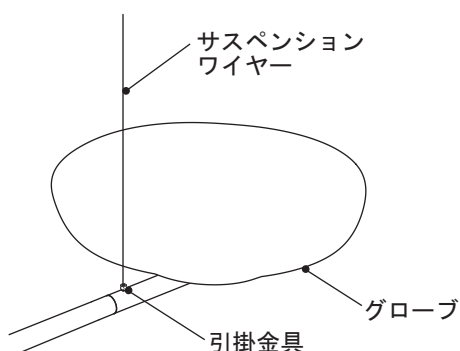


図 1 8



【スワッグフック(オプション)の取付方法】

- ・ この部品は、灯体の保持やバランスを取るためのものです。
- ・ サスペンションワイヤーを使って天井から吊り下げます。

※取り付けは、ブランチが延長棒と垂直になるように調整してください。(図 1 3 参照)

1

グローブホルダー固定ネジをはずします。

(図 1 4 参照)

- ・ 吊り下げる位置(3か所を推奨)を決め、その部分のグローブホルダー固定ネジを六角レンチ(1.5mm)を使って、はずしてください。

2

引掛金具を取り付けます。

(図 1 5 参照)

- ・ グローブホルダー固定ネジをはずした穴に、引掛金具を六角レンチ(1.5mm)を使って、ねじ込んでください。

3

スワッグフックを取り付けます。

(図 1 6 参照)

- ・ 引掛金具の真上の天井に、専用ネジを使ってスワッグフックを固定してください。

※スワッグフックを取り付ける箇所は、器具の質量に耐えられるように補強をしてください。

4

サスペンションワイヤーを取り付けます。

(図 1 7・1 8 参照)

- ・ サスペンションワイヤーを引掛金具、スワッグフックの順に通し、長さを調整してください。長さは、ブランチをほんの少しだけ浮かせるように設定してください。
- ・ 設定後、六角レンチ(1.5mm)を使ってワイヤー固定ネジを締め付け、固定してください。

【ランプの交換方法】

△注意 電源を切り、ランプの熱が完全に冷めるのを待ってから行ってください。

- ・ 取付順序 9・10 を逆の手順で行い、グローブを取りはずしてからランプを交換してください。

【お手入れ方法】

- ・ グローブとブランチ、ハブ、延長棒、フランジは、水につけてから固く絞った柔らかい布で優しく拭いてください。

使用についての安全上のご注意

⚠ 警 告



火災のおそれがあります

- 器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。



感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。
- 異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談下さい。



感電・火災のおそれがあります

- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

⚠ 注 意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下の原因**となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は定期的に（6ヶ月程度）保守点検をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。
- 照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くとも内部の劣化は進行しています。3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。（一般に照明器具の寿命の目安は10年ですが、周囲環境温度等の使用条件に大きく影響されます。）

お 願 い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。**感電の原因**となることがあります。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。

屋内用

保守とお手入れ

⚠ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ぬれた手で器具に触らないでください。

ポッチ 日本総代理店

studioNOI

スタジオノイ株式会社

107-0062 東京都港区南青山 2-18-2
竹中ツインビル B wing 2F
Tel. 03-5843-0260 Fax. 03-5843-0270
studio-noi.com